

図書館における雑誌の提供事業（図書館各館）

項 目	内 容
①事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年多量に刊行されている図書資料(一般書・児童書・逐次刊行物・視聴覚資料)の中から、図書司書が長年にわたる市民との対応や地域性から市民要望を反映した資料の選択を行い、貸出し等を行っている。 ・ 逐次刊行物として購入している雑誌については、週刊、隔週、月刊、隔月、季刊など、275種類(平成21年度・中央図書館)を提供している。 週刊誌: アエラ・週刊ダイヤモンド・日経ビジネス・週刊ベースボールなど15種類 月刊誌: 中央公論、JTB 時刻表、日経サイエンス、ゴルフダイジェスト、山と溪谷、たまごクラブ、婦人画報、住民と自治、教育ジャーナルなど192種類 季刊誌: 会社四季報、園芸ガイド、こどもとしょかんなど18種類。 ・ 図書館の蔵書冊数は、次のとおりである。 一般書327, 801冊、児童書155, 423冊 ・ 雑誌の貸出し冊数は、次のとおりである。(雑誌は、次号の発行後、貸出し可能になる。) 一般書405, 926冊/年、児童書221, 460冊/年、雑誌58, 218冊/年
②経費	<p>【雑誌の購入経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成22年度: <u>5, 527千円</u>(中央・東部・五日市・増戸の各館の合計) (参考: 一般図書・児童図書・等の購入経費:<u>30, 500千円</u>)
③取り巻く状況	<p>【市民から寄せられた意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑誌については、図書館において提供しなくても良いのではないか。 <p>【利用者から寄せられた意見】(平成21年11月に4館で実施した図書館調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑誌の種類を増やしてほしい。 ・ 週刊誌を充実してほしい。
⑤これまでの改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年度と比較した雑誌の購入額 Δ4. 3%
⑥市民アンケートの結果	<p>【本事業が含まれる「生涯学習の推進」施策の重要度と満足度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要度: 40施策中の36位(下位) ・ 満足度: 40施策中の 6位(上位)
⑦課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民アンケートの結果を見ると、重要度が低いが、満足度は中位に位置している。この結果は、厳しい財政状況の中、事務事業の選択と集中を進めていくためには、今後、市として積極的に施策展開を図る事業ではないといえる。